

Pa tva hjul (On two wheels) 2006

—スウェーデン二輪車展示会—

スウェーデン国内市場向け二輪車展示会が、2006年1月26日（木）～29日（日）の4日間、ヨーテボリの国際展示場で開催された。スウェーデンの市場規模は小さいが欧州へ進出する企業が試験市場として選ぶほど目の肥えた市場である。

【スウェーデン二輪車展の概要】

主催：メッセ・スウェーデン社

会場：Svenska Maessan（スウェーデン国際展示場—ヨーテボリ）

会期：2006年1月26日（木）～29日（日） 4日間開催

* 26、27日ビジネスショー、28、29日ユーザーショー

開催時間：26日～27日 10:00～20:00

28日 09:00～20:00

29日 09:00～17:00

展示面積：ホール1、2 13,081 m²（イベント面積含む）

入場者数：26日～29日 67,108人

出展者数：103社（自転車関係出展社、ブランド）



展示会場入り口



フェッスフルト

1. 展示会について

この展示会は二輪車展であるためオートバイが主力となり、展示面積全体の約6分の1が自転車の展示となっている。また、欧州主要国の展示会との大きな相違点は、独特のカラーリングとシティー車に前かごが装着されている点であるが、シートサスペンション、可変ステムやインテグラルヘッドなどの装備がない。展示されていたシティー車の価格帯は、3,500～6,700スウェーデンクローネ（約52,000～99,000円）と高額である。他社製品との差別化のため高品質自転車に徹した企業もあり、CYKELFAKTAマーク（the bicycle 2006年3月号参照、3月20日発行）を表示あるいは、品質管理のステッカーを貼付している自転車が散見された。



CYKELFAKTA マーク



品質管理のステッカー



ツーンツーリ



フェップスフルト

2. ブランド自転車

米国ブランドの「トレック」を展示しているブースでは、ヨーテボリ市の警察が採用している警察官用のモデルを展示し来場者の注目を集めていた。この展示会でも欧米各国のブランド名は浸透しており、ビアンキ、ゲャーリー・フィッシャー、ルック、リーゼウトメラー、スペシャライズドなどのフレーム・自転車が、スウェーデンブランドに混じり展示されていた。出展社の担当者によると、寒冷な気候のため自転車に乗れる期間が短く、春から秋の間のレジャーとして自転車を利用しているため、高価格帯のブランド車の需要が大きいそうである。



トレック警察官用モデル



ビアンキ



クレッセント



ツーンツーリ

3. smart safety—防犯登録

smart safety シールが貼付された自転車を購入した場合、登録カードが添付されており、そのカードに所有者の個人情報を記入する。その後、管理センターに送付すると所有者の情報が登録される。登録した自転車が盗難に遭い登録番号を管理センターに届け出ると、盗難自転車情報が各警察署に配備されているバーコードリーダーに配信される。こうした仕組みにより、盗難に遭った自転車が発見された場合、速やかに所有者に返却が可能である。また、smart safety シール貼付による盗難の抑止効果も期待されている。



smart safety シール

4. 業界の戦略

スウェーデン機械試験研究所（SMP）では、今年の3月から品質認証制度「CYKELFAKTA」の基準規格に昨年末発行された欧州規格（EN規格）を採用する。欧州市場の例に漏れず、スウェーデン市場も自転車価格の二極化が顕著で、自転車の輸入が増加している。このような状況から同国の業界では、消費者に安全な製品を供給するため「CYKELFAKTA」マークの利用を検討している。こうした大胆な取り組みが可能なのは、メーカーが国内にほとんどないことと、人件費が非常に高いため、国内企業は高額な自転車に特化せざるを得ない状況がある。

5. 来年の開催日程・場所

来年は場所をストックホルムに移して、2007年1月25日（木）～28日（日）の日程で開催される。当協会ではこの展示会に出展を予定しており、共同出展社を募集する予定である。

（デュッセルドルフ事務所）